

【算数】

<学習内容> ～何日かに分けて取り組むと効果的です～

◆「pentomino」（教科書P7～9）

(1) 同じ大きさの正方形を４枚つなげてできる形を取り組みシートに書いてみよう。



(2) 同じ大きさの正方形を５枚つなげてできる形を調べてみよう。

(3) ５枚つなげたときは、何種類あるかな？

(4) 抜けや重なりがなく全ての種類を見付けるには、どうしたらいいか考えてみよう。

(5) 自分で方法を見付けられたら、取組ノートに書こう。

<保護者による関わり方のポイント>

①(1)→まず、正方形４枚で考えさせます。ここでは、「できる！できる！」という思いをもたせることが大切になります。

※ゲームのテトリスは、このパターンに当てはまります。

(2)→次に、正方形５枚で考えさせます。

※４枚のときよりは、数が増えるだろうという予測した場合は、子どもをほめてあげたい。（算数の学習では、おおよその答えを考えることは、大いに役立つためです）

(3)→全部で１２種類を探させます。

※２年生の学習では、正方形６枚で、箱の形を作る活動を行っています。

過去の学年の学習とつなげられたなら、子どもをしっかりとほめていただければと思います。

(4)→全ての種類を見付けるためには、順序よく考える必要があります。これは、４年生の１年間の算数の学習で大切な考え方（教科書P6）なので、大人も一緒になって考えてみるとより効果的です。